

魅力あふ

ふみ

の

遠賀川

居心地のいい安らぎと  
愛着のある遠賀川をめざして

平成22年度 事業概要

遠賀川

冬



秋



夏



春



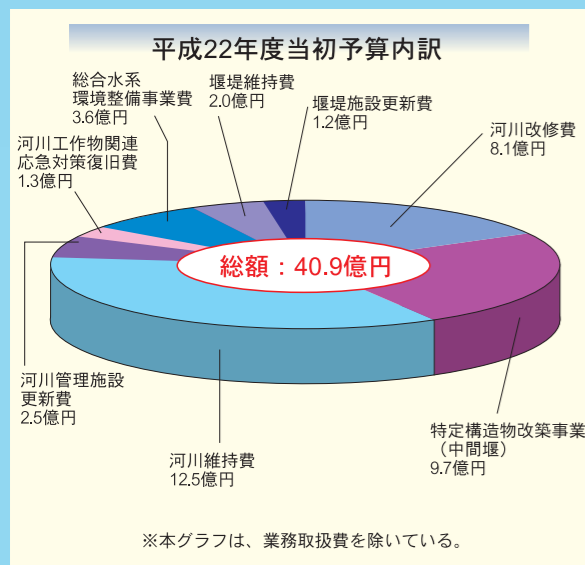
遠賀川のシンボルマーク

国土交通省九州地方整備局 遠賀川河川事務所

# 事業概要

# 遠賀川

遠賀川河川事務所は、安全で安心した暮らしを守るために、水害を軽減する河川整備事業を強力に推進するとともに、遠賀川河口堰や堤防・樋管等の河川管理施設の維持管理、修繕及び遠賀川の水質改善や河川の利活用促進を図る河川環境整備等を実施します。なお、整備に当たっては、地域住民の方々の意見等を聞きながら、地域と一体となった河川整備事業を実施します。

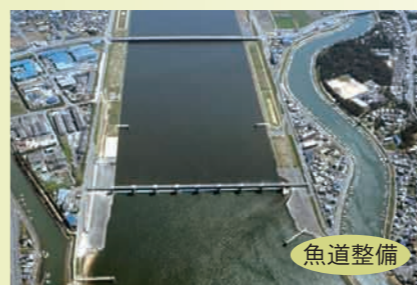


## 安心・安全



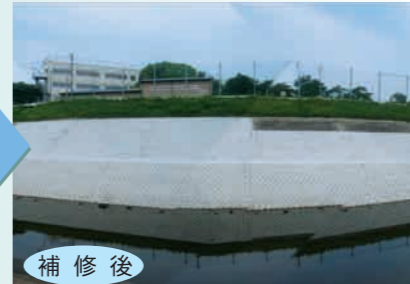
遠賀川流域は、古くから水害に襲われた歴史があり、平成15年7月、平成21年7月豪雨などは記憶に新しいところです。事業を進めるにあたり、河川整備や河川空間の利活用を地域の方々と行政が一緒になって考え、遠賀川を軸とした地域づくりも行っています。

## 環境



遠賀川流域では多くの人々が、河川の持つ多様な自然環境や水辺空間を潤いのある生活環境として活用しています。豊かな自然環境に恵まれた遠賀川では、多様な自然環境を保全・復元し、生物の多様性の回復を図るための魚道整備や、水辺空間の利用促進のため施設整備を行っています。

## 維持管理



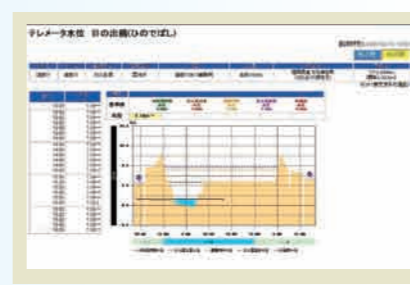
遠賀川には、洪水から暮らしを守るため、堤防や樋門樋管、水門、護岸などの施設が数多くあります。これらの施設を管理し、機能を発揮できるように維持していくため、河川の巡視や堤防の除草、施設の修繕などを行っています。

## 地域交流



遠賀川の流域内には、川に関するボランティア活動を行っている団体が数多くあります。各団体の活動の情報交換や川への想いを語る場として各出張所で交流会を行っています。

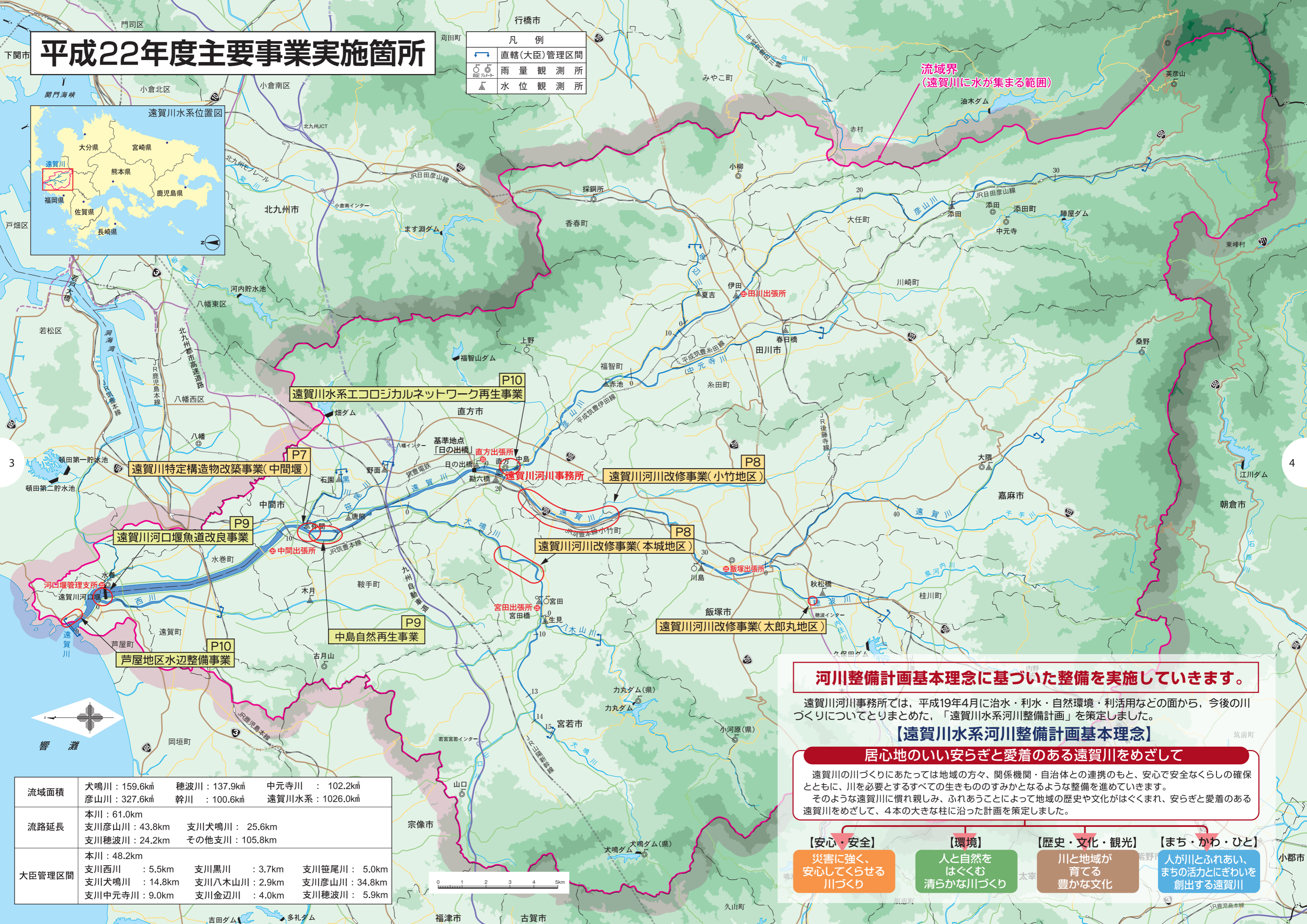
## 防災



平成21年7月豪雨は遠賀川流域に大きな被害をもたらしました。国土交通省や県では、もしもの場合に備えて、避難の目安になる雨量や水位など様々な情報の提供を行っています。

# 平成22年度主要事業実施箇所

	直轄(大臣)管理区間
	雨量観測所
	水位観測所



流域面積	犬鳴川 : 159.6km <sup>2</sup>	穂波川 : 137.9km <sup>2</sup>	中元寺川 : 102.2km <sup>2</sup>
	彦山川 : 327.6km <sup>2</sup>	幹川 : 100.6km <sup>2</sup>	遠賀川水系 : 1026.0km <sup>2</sup>
流路延長	本川 : 61.0km	支川犬鳴川 : 25.6km	
	支川彦山川 : 43.8km	支川穂波川 : 24.2km	支川中元寺川 : 9.0km
大臣管理区間	支川西川 : 5.5km	支川黒川 : 3.7km	支川笹尾川 : 5.0km
	支川犬鳴川 : 14.8km	支川八木山川 : 2.9km	支川彦山川 : 34.8km
	支川中元寺川 : 9.0km	支川金辺川 : 4.0km	支川穂波川 : 5.9km

## 河川整備計画基本理念に基づいた整備を実施していきます。

遠賀川河川事務所では、平成19年4月に治水・利水・自然環境・利活用などの面から、今後の川づくりについてとりまとめた、「遠賀川水系河川整備計画」を策定しました。

### 【遠賀川水系河川整備計画基本理念】

**居心地のいい安らぎと愛着のある遠賀川をめざして**

遠賀川の川づくりにあたっては地域の方々、関係機関・自治体との連携のもと、安心で安全な暮らしの確保とともに、川を必要とするすべての生きものすみかとなるような整備を進めていきます。そのような遠賀川に慣れ親しみ、ふれあうことによって地域の歴史や文化がはぐくまれ、安らぎと愛着のある遠賀川をめざして、4本の大きな柱に沿った計画を策定しました。

- 【安心・安全】** 災害に強く、安心してらせる川づくり
- 【環境】** 人と自然をはぐくむ清らかな川づくり
- 【歴史・文化・観光】** 川と地域が育てる豊かな文化
- 【まち・かわ・ひと】** 人が川とふれあい、まちの活力とにぎわいを創出する遠賀川

# 事業実施による被害軽減効果

## 河道掘削、排水ポンプ場の設置、橋梁架替などによって、洪水被害の軽減を図っています。

遠賀川河川事務所では、平成15年7月豪雨による被害を受けて河道掘削、排水ポンプ場の設置(3箇所)、橋梁の架替(1橋)等を実施。平成21年7月豪雨による出水では、同規模程度の出水であった平成15年7月洪水と比較し、**約3,400戸の家屋の浸水被害が軽減されました。**

平成15年7月豪雨による被害状況



平成21年7月豪雨による被害状況 (犬鳴川左岸の出水状況)



平成21年7月豪雨により、飯塚、穂波地区周辺の雨量観測所では、平成15年出水実績雨量と同量を記録。また同規模の洪水も発生しました。

### 平成15年7月出水

平成15年7月の集中豪雨により遠賀川水系では甚大な浸水被害が発生しました。



直方地区浸水状況



飯塚地区浸水状況



学頭地区浸水状況



菰田地区浸水状況

### 浸水被害軽減対策

遠賀川河川事務所では、浸水被害を軽減する為、河道掘削と橋梁架替、排水ポンプ場の設置等を実施。

#### 河道掘削

もっと多くの水が流れるよう、掘削を行い河道を広げます。

掘削前



掘削後



#### 橋梁架替

洪水時に流木等が引っ掛からないよう、橋脚数を減らします。

旧芳雄橋

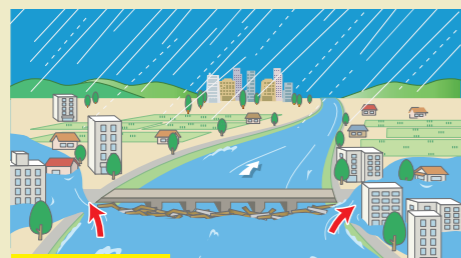


橋脚 22基

新芳雄橋



橋脚 5基



洪水時

橋脚数が多く橋脚間が狭いと、流木等が引っ掛かり流れをせき止め、川の水が溢れる恐れがあります。



洪水時

橋脚の数を減らすことで、流れをせき止めることなくスムーズに流します。

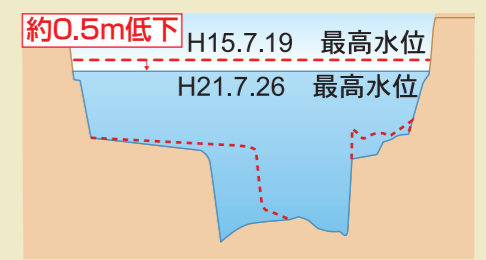
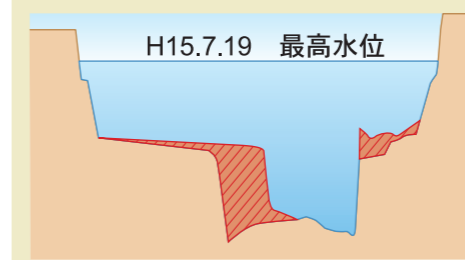
### 整備効果

しかし床上浸水対策特別緊急事業により、平成21年7月の出水は、平成15年7月の時と比べると大幅に浸水被害を軽減しました。

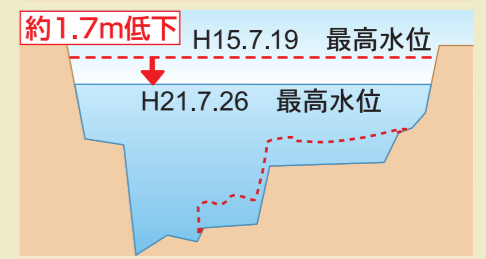
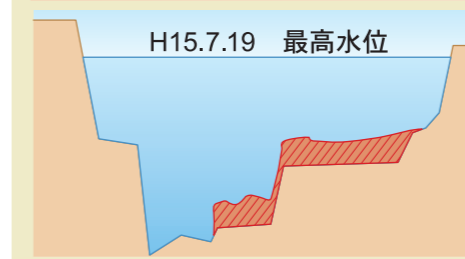
#### 水位低下

河道内の土砂を掘り、洪水時の水位を低下させました。

遠賀川  
30k600付近



穂波川  
2k000付近



#### 浸水家屋減

河川の水位を低下させた事により、浸水家屋が減少しました。

飯塚地区



平成15年7月/床上浸水2,902戸



平成21年7月/床上浸水404戸

出水状況

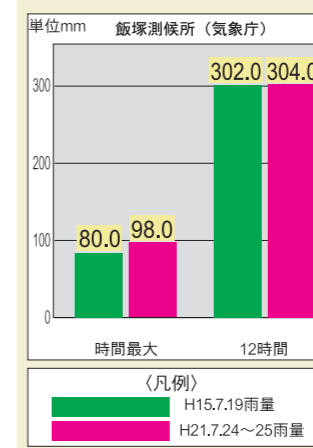


直方市駅前商店街浸水状況

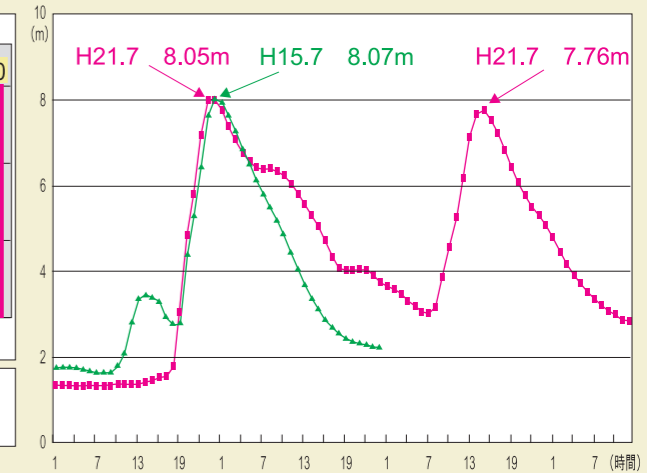


下境猪久保地区浸水状況

雨量観測データ



水位観測データ (日の出橋水位観測所比較)



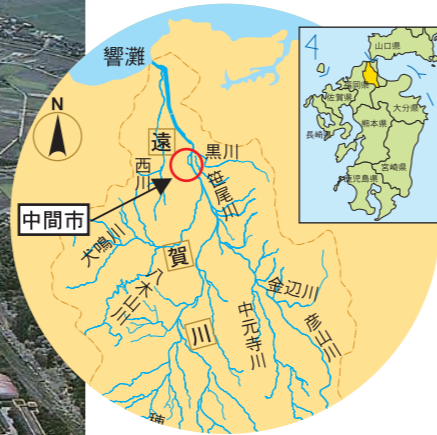
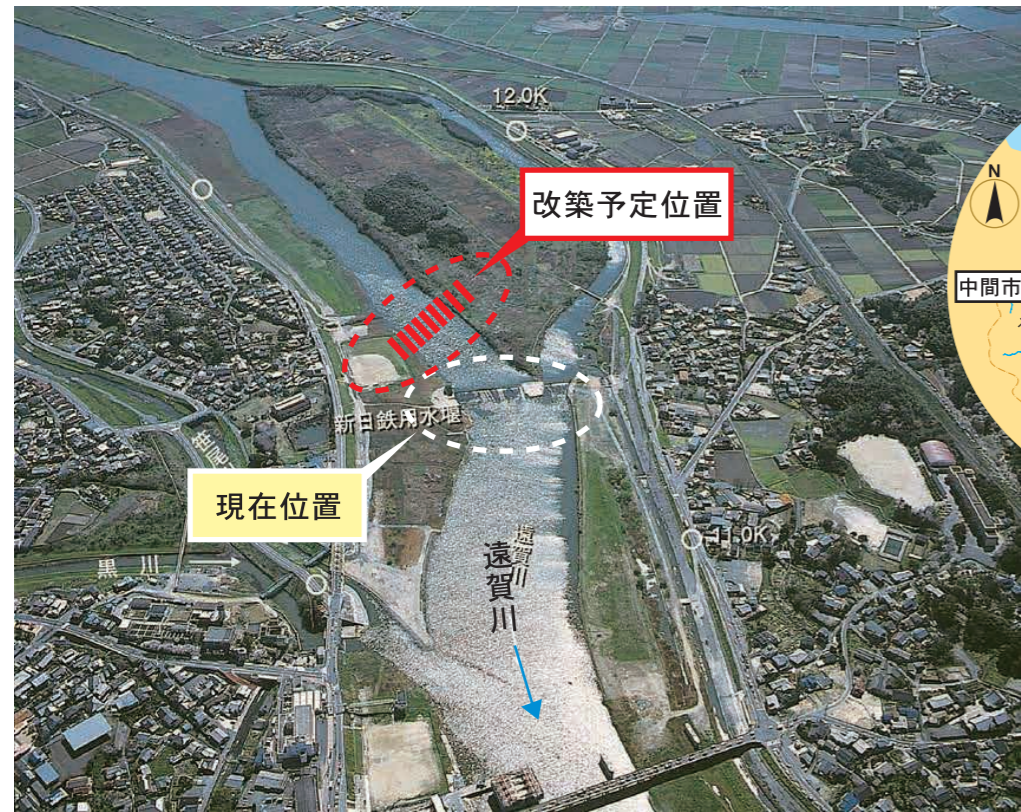
# 遠賀川特定構造物改築事業 [中間堰]

堰改築による治水安全度の向上

## 河道拡幅と堰の改築によって治水の安全度を高めます。

遠賀川11k300付近に位置する中間堰は、工業用水等を取水することを目的として、昭和4年に設置された堰であり、周辺には市街地が広がっています。堰付近は河床が高く洪水の安全な流下を阻害する要因となっていることから、河道拡幅とそれに伴う堰改築を行い、河道断面を確保して、洪水時の水位を低下させることで被害の軽減を図ります。

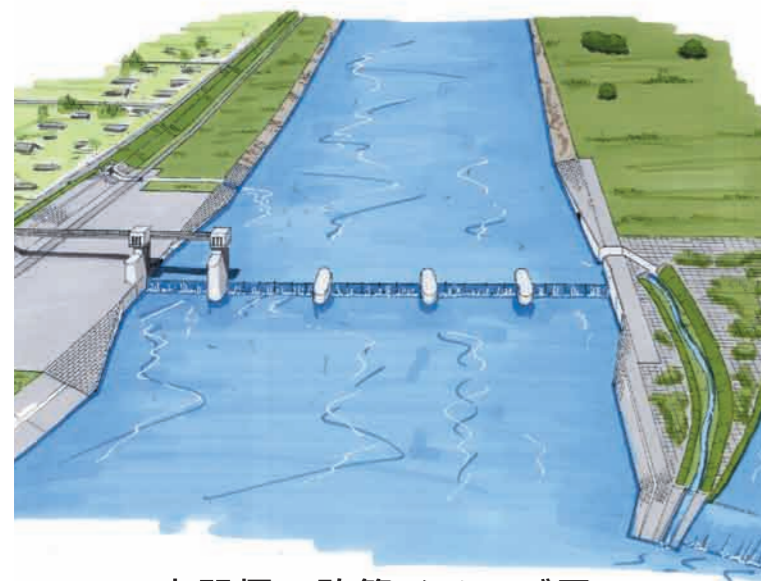
なお、本事業は、新日本製鐵(株)との共同事業として行うものです。



### ●事業の概要

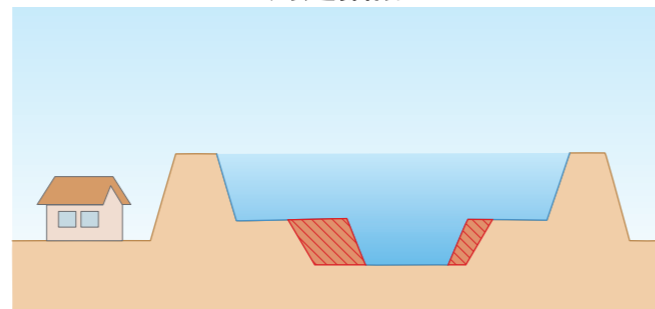
- 事業箇所：福岡県中間市
- 期 間：平成21年度～平成27年度(予定)
- 事業内容：堰の改築・河道拡幅

### 河道掘削

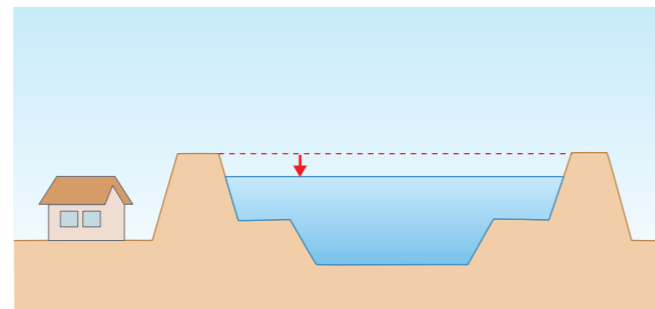


### 中間堰の改築イメージ図

※魚道等一部の施設については設計の進捗により、形状の変更等が生じる場合があります。



河道内の土砂を掘ります



河川の水位を低下させます

# 遠賀川河川改修事業 [小竹地区]

堤防整備による洪水被害の軽減

## 堤防整備によって洪水の安全な流下と浸水被害の軽減を図ります。

平成21年7月豪雨の影響によって、小竹町ではJR、工業団地、町立病院周辺道路が冠水しアクセスが遮断されるなどの被害が発生しました。

このような洪水を安全に流下させ、浸水被害を軽減するため、堤防高の不足している一連区間の堤防整備を実施します。

H21.7小竹町付近の浸水状況(小竹町立病院付近)



# 遠賀川河川改修事業 [本城地区]

河道掘削による洪水被害の軽減

## 犬鳴川の河道掘削によって洪水の安全な流下と浸水被害の軽減を図ります。

平成21年7月豪雨によって、遠賀川水系犬鳴川は宮田橋水位観測所において過去最高水位を記録しました。この影響によって、宮若市、直方市において浸水被害が発生しました。

このような洪水を安全に流下させ、浸水被害を軽減するため、犬鳴川の河道掘削を実施します。



## 中島自然再生事業

多様な自然環境の保持・復元

● 中島の氾濫原やヨシ原を復元、創出し、河川の多様な水際景観を創出します。

遠賀川中流部では、流域の土地利用の変化や河川改修により、もともと河川や河川周辺にあった湿地（川のたまりや池など）が失われてきました。

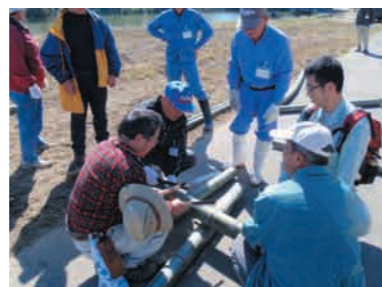
また、河川改修が進み、川岸にコンクリート護岸が設置されたことにより、水際は単調となり、様々な生物が棲む空間が減少し、生物の多様性が低下してきました。

そこで、流域や河川で失われた湿地を創出し、多様な生物が生息する河川環境を再生することを目的に、ヨシ原が減少し、外来植物の繁殖が進んでいる中間市の中島において、掘削による湿地の再生及びヨシ原の保全を行い、次世代に引き継ぐ未来の遠賀川の川づくりを行います。

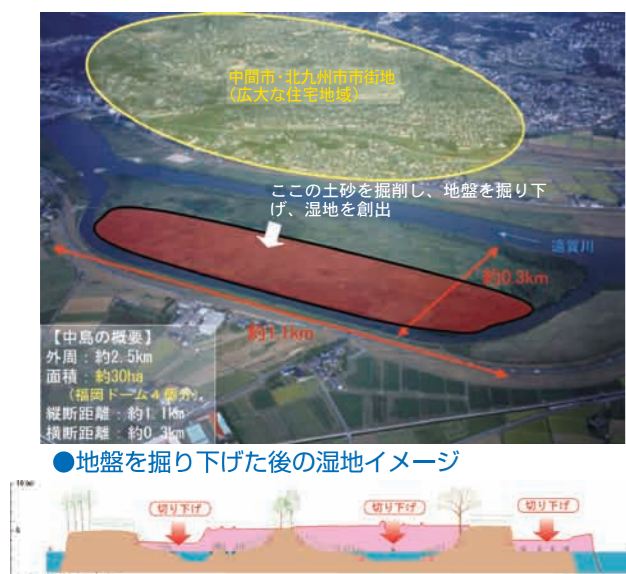
現在の中島の状況



整備イメージ



地域の皆さんとワークショップや現地調査を実施しています



芦屋河岸の侵食状況



## 芦屋地区水辺整備事業

河岸の浸食をくい止めて、親水性を向上

● 良好な砂浜景観を取り戻し、河川利用の安全を確保します。

遠賀川の最下流部に位置する芦屋地区では出水や波浪の影響により、河岸の浸食が進んでいます。

また、本地区では芦屋橋の架け替えや周辺環境整備が進んでおり、観光客の増加が見込まれています。

そこで、砂浜浸食を防止し、良好な景観の復元及び観光客等の河川利用時の安全を確保するために、水制工にて砂浜を保全・復元し、階段や河川管理用通路を整備して、河川と親しむ空間を創出します。



地域の皆さんと清掃を実施しています



芦屋橋及び周辺環境整備促進協議会での説明



地元説明会の状況。活発な意見が飛び交います

## 遠賀川水系エコロジカルネットワーク再生事業

生物ネットワークの再生

● 樋門・樋管の段差を解消し、河川敷開水路を多自然化します。

遠賀川水系では数百にもおよぶ樋門・樋管により、川と田んぼ（水路を含む）が隔てられ、田んぼとの関連性の強い生物（ドジョウ類・ナマズなど）の生息・生育環境が損なわれています。

そこで、水門出口および本川合流部における段差を解消し、田んぼ（水路含む）との連続性を回復させるとともに、コンクリート3面張りの河川敷開水路を多自然化することにより生物の生息・生育環境の改善を図ります。



ワークショップ状況

## 遠賀川河口堰魚道改良事業

遠賀川水系全体の魚類等の多様性回復

● 現況魚道を改良し、多自然魚道を新設します。

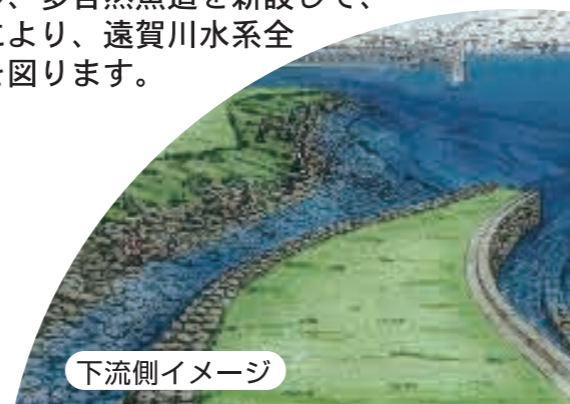


遠賀川河口堰の魚道は、遠賀川水系の最下流に位置することから、水系全体の魚類等の遡上や降下の出入り口で、川と海をつなぐ重要な魚道です。

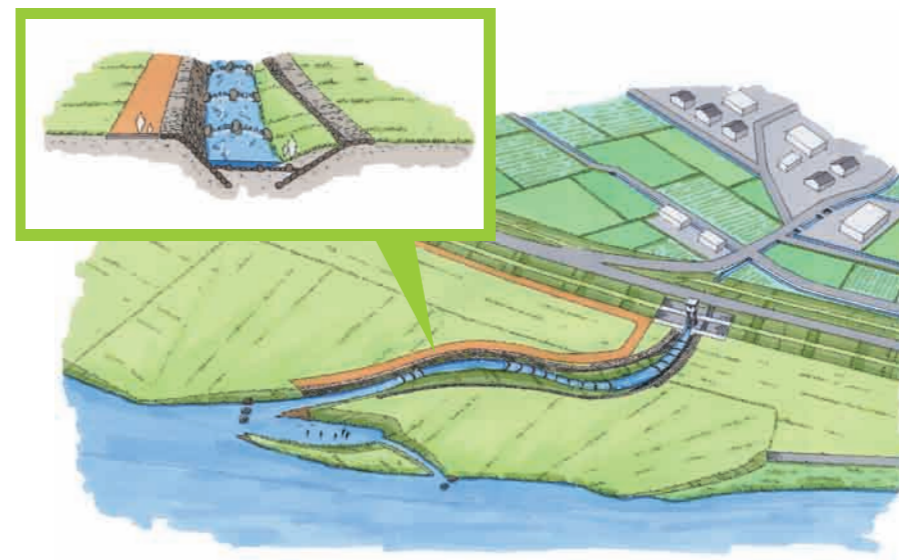
そこで、種々の魚たちがのぼりやすいように、既設魚道を大型魚用と小型魚用に改良し、多自然魚道を新設して、魚道機能を向上することにより、遠賀川水系全体の魚類等の多様性回復を図ります。



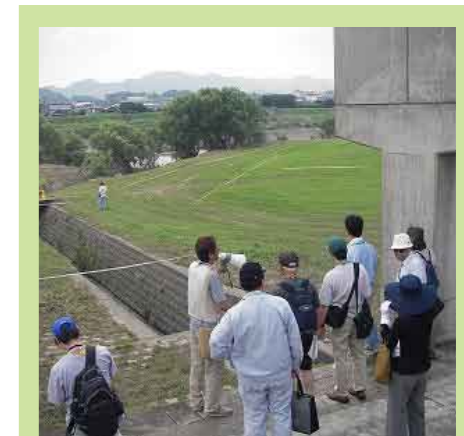
現在の魚道



下流側イメージ



整備後のイメージ



本事業では、地域住民と行政がワークショップを通じて、活発な意見交換を行いながら効率的で効果的な事業の推進を図っています。

# 遠賀川の管理

## 河川を快適で安全な状態を保つために

遠賀川が常に快適で良好な状態を保つように管理しています。洪水時に河川管理施設（堤防・護岸・樋門樋管など）がきちんと機能を発揮できるように点検、維持修繕などを行っています。また、管理施設の異常や水質事故、河川へのゴミの不法投棄や不法占用などを監視するために河川巡視を実施しています。

### 維持管理

#### 除草

雑草が生い茂る堤防は陥没していても発見されにくいため大変危険です。そこで、除草作業を行い堤防の安全性を確保しています。

除草作業



#### 河川巡視

堤防及び河川管理施設等の点検や、水質事故や不法投棄の報告などを行い、適正な河川管理を行います。

巡視状況



刈草のリサイクル  
(酪農での使用状況)



### 施設の補修・改善（樋管の補修、護岸修繕、上屋設置、電動化など）

ひび割れや漏水などをおこしている施設やその周辺に対して、治水機能が劣っているものについて応急的に補修・改善を行います。また、洪水時、樋門などの操作する際の安全確保のため、上屋の設置や動力の電動化を順次進めています。

函体補修  
施工前



函体補修  
施工後



上屋  
施工前



上屋  
施工後



## ゴミ対策

遠賀川にはたくさんのゴミが捨てられており、遠賀川河川事務所管内に不法投棄は1417件（平成20年度）もありました。洪水によってそれらのゴミが遠賀川河口堰に到達し、回収・処分費に毎年約3,000万円が費やされています。遠賀川河川事務所では、自治体や警察、住民団体の連携により不法投棄対策を行っています。きれいな遠賀川を取り戻すため、皆さんの協力が必要です。

ゴミ  
不法投棄  
状況



通常の  
河口堰の  
状況



出水後の  
河口堰に  
溜ったゴミ  
の状況



## 水質事故対策

水質事故とは、河川などに油や化学薬品などの汚染物質が流出したり、魚類が大量に死んでいるなどの事故です。水質事故が発生すると、水道や農業用水への影響等により人々の生活に重大な被害を与えてしまうことがあるほか、河川の水質や生態系に大きな影響を与えることがあります。

遠賀川河川事務所では、事故が発生したときは自治体などと協力して、それ以上被害が広がらないような対策を行っています。

もし、油を流出させたときや、河川、水路などで異常を発見したときは、関係機関へ至急、通報をお願いします。

水質事故  
対策



水質事故  
対策



# 遠賀川水系における不法係留船対策

## 遠賀川周辺環境の維持と治水の安全確保のために

遠賀川水系では、バブル期にプレジャーボートの所有が増加した結果、本川河口部周辺・西川において、多数の船舶(H21:約800隻)が係留されるようになりました。この為、周辺地域への**環境問題(ゴミ・騒音)**や**治水上の問題**が深刻となっています。その第一歩として、地域の住民が安全で快適に川を利用することができるように様々な議論を行い、よりよい遠賀川のあり方を模索・検討していくための国・自治体(芦屋町・遠賀町)・地域住民・漁協・船舶使用者等からなる**西川利用対策会議**をこれまで4回おこなってきました。



西川・右岸

### 西川利用対策会議

遠賀川下流域では、不法係留船が適切な河川利用を阻む大きな要因となっています。遠賀川河川事務所では、秩序ある安全な河川空間を確保するため、遠賀川水系(特に西川)を係留船の**重点的撤去区域**に指定するなどの対策を図っています。

重点的撤去区域の指定にあたって、地域住民・河川利用者・漁協・地元自治体・船舶利用者等と議論を深め、よりよい西川のあり方を模索・検討していくために、『西川利用対策会議』を平成21年5月より実施しています。



## 不法係留船がもたらす問題点

### ◇治水上の問題点



### ◇環境上の問題点



### 九州初の重点的撤去区域設定へ向けて

本年度は、平成23年以降に設定する重点的撤去区域へ向け、西川利用対策会議とは別に河川管理者(国・県)・自治体・警察・海上保安庁・学識有識者等の関係機関による協議会の開催を行います。

また、その他に不法係留船対策実施計画の決定及び、西川高水敷に投棄している検査切れの船舶の撤去を行います。



### 重点的撤去区域とは

重点的撤去区域指定された水域では、周辺環境の維持と治水の安全を確保するために、**船舶の係留規制(強制撤去)**が徹底されます。

#### 第1期撤去区の様況



# 遠賀川河川事務所の施設紹介

## 遠賀川河口堰

遠賀川河口堰は、洪水流下能力の増大と塩害の防除を図るとともに、北九州市等への水道用水、工業用水の確保を図るため、昭和55年に河口から2.0km地点に設置された芦屋町と水巻町にまたがる九州最大の可動堰です。



遠賀川河口堰の諸元	
堰の長さ	517m
堰の敷高	T.P. -4.2m
常時満水位	T.P. +1.5m
総貯水容量	11,140,000m <sup>3</sup>
有効貯水量	8,840,000m <sup>3</sup>
湛水面積	2.94km <sup>2</sup>
湛水区間	9.39km(2/0~11/300)



## 遠賀川水辺館(遠賀川地域防災施設)

平成16年10月に遠賀川河川事務所隣にオープンしました。防災・減災の活動拠点として、また、河川協働活動および河川情報発信の拠点として今までに約20万人の方にご来場いただいています。



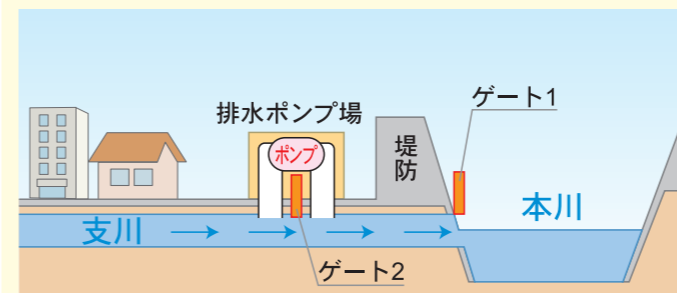
- ◆開館日/毎週火曜日～日曜日(月曜日の場合は火曜日閉館)
- ◆開館時間/10時～18時 ◆連絡先/〒822-0013 直方市溝堀1丁目1-1 TEL 0949-22-1810

## 排水ポンプ場

遠賀川には洪水から暮らしを守る為に、たくさんの排水ポンプ場が整備されています。

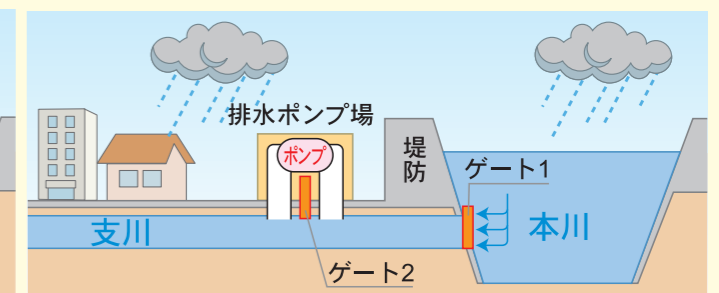
### 排水ポンプ場の役割

#### 排水ポンプ場の仕組み1



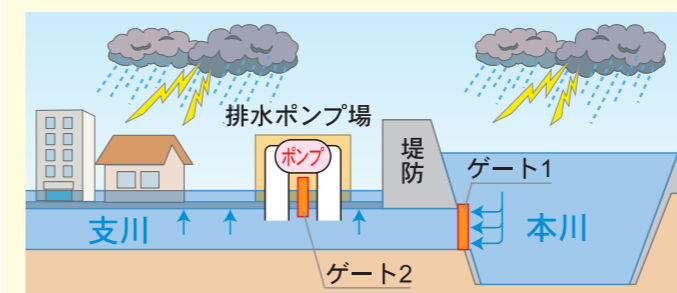
普段は支川の水位が本川より高いため支川から本川へ水が流れ込みます。ゲート1、ゲート2は開いています。

#### 排水ポンプ場の仕組み2



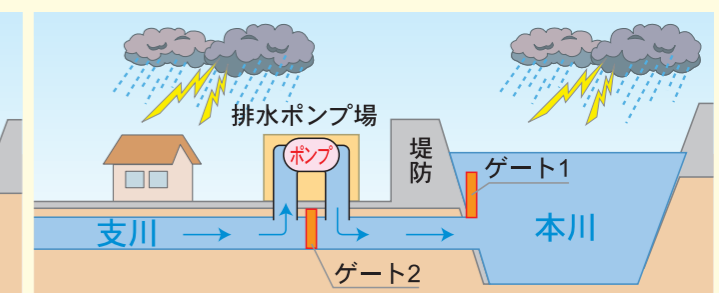
大雨などのときは本川の水位が高くなるため支川への逆流を防ぐためにゲート1を閉じます。ゲート2は開いています。

#### 排水ポンプ場の仕組み3



しかし、雨が降り続けると支川の水は本川へ流れ込まず、住宅地や道路、田畑に溢れ出します。

#### 排水ポンプ場の仕組み4



浸水被害をおさえるため、溢れ出しそうな支川の水をポンプ(排水機)の力によって本川へ押し出すことが排水ポンプ場の役割です。ゲート1は開き、ゲート2は閉じています。

## 遠賀川の川づくりは地域と協働して進めます。

### 遠賀川の整備と併せて地域づくりを支援

行政・住民・各種団体等と連携しながら遠賀川を利活用する日常的な活動を具体化し、市民主体による利活用から管理までの仕組みを検討しながら地域（まち）の活性化につながるようまちづくりと連携した河川整備を進めていきます。

#### 直方地区

河川を活用したにぎわい空間（親水性・体験学習、憩いの場等）をつくり、まちとの連携を図り、地域と行政が一体となって河川整備について考えていきます。



市民部会



#### 芦屋地区

遠賀川河口堰の魚道機能向上とともに、環境教育の場としての利活用を図るため、小学生も含めた住民ワークショップを行っています。



#### 宮若地区

宮若地区で行われている「犬鳴川夢プラン」にむけた意見交換会を行い、犬鳴川の利活用を地域の方々と考えていきます。



犬鳴川夢を語る会

#### 中島地区

河川の多様な景観の復元・創出を目的に、中島自然再生事業を実施していますが、地域の皆さんと協働で進めていくため、中島ワークショップを定期的に行っています。



第15回中島ワークショップ 意見交換会



第16回中島ワークショップ 現地調査

## 遠賀川流域交流会のご紹介

### 遠賀川流域交流会

遠賀川流域には、川に対する情熱や夢や希望を持ち、活発にボランティア活動をされている団体が約70団体あります。

各団体の方々が各活動の情報交換や川の将来など、それぞれの考えなどを語りあったりできる場として、遠賀川河川事務所の各出張所で交流会を開いています。

各交流会の交流会活動やボランティア活動に興味を持たれた方は、各出張所へお問い合わせください。お問い合わせ先は裏表紙に記載しています。

#### 中間地区 なかま川づきあい交流会

発足 H18.10.17 定例会 偶数月1回

北九州市・中間市・遠賀地域の遠賀川及びその支川等において川に関わる活動をしている人及び行政機関の相互の情報交換をとおして、河川環境の向上及びより良いまちづくりに資する事を目的に取り組んでいます。



水辺の楽校 草刈り



笹尾川 カヌー教室

#### 宮田地区 宮若川づくり交流会

発足 H13.5 定例会 2ヶ月に1回

これまでの意見交換や勉強会によって培った経験を活かし、交流会メンバーによる水質調査や水生生物調査、カヌー体験や沢登りといった環境学習的な活動を実施しています。



炭作成（水質浄化用）



水質浄化用の炭設置

#### 直方地区 直方川づくり交流会

発足 H8.6.27 定例会 毎月2回

「50年後の遠賀川はこんな姿にしたい」とみんな意見交換をしながら夢のある川づくり実現に向け、行政機関を交え夢プランの提案やリバーチャレンジスクールなど「川づくりはまちづくり、人づくり」をキーワードに活動を行っています。



リバー チャレンジ スクール



「夢プラン」提案式

#### 飯塚地区 飯塚川づきあい交流会

発足 H9.9.1 定例会 毎月1回

川づくりに関する議論や勉強会を続けていき、様々な視点から「将来の遠賀川のあり方」についてビジョンを提案できるような活動を行い、また毎年開催されている「I LOVE 遠賀川」においては、約2,000人の参加者とともに河川清掃を行っています。



川づくり勉強会風景



イベント「I LOVE 遠賀川」の清掃作業

#### 田川地区 田川ふるさと川づくり交流会

発足 H10.7.1 定例会 毎月1回

住民・行政が連携した「田川地域の川づくり」について議論しており、水質調査や清掃活動、間伐材を利用した花壇づくりなどの外に、次世代を担う子供たちへ環境教育として、リバースクールや出前講座等を実施しています。



間伐材を利用した花壇づくり

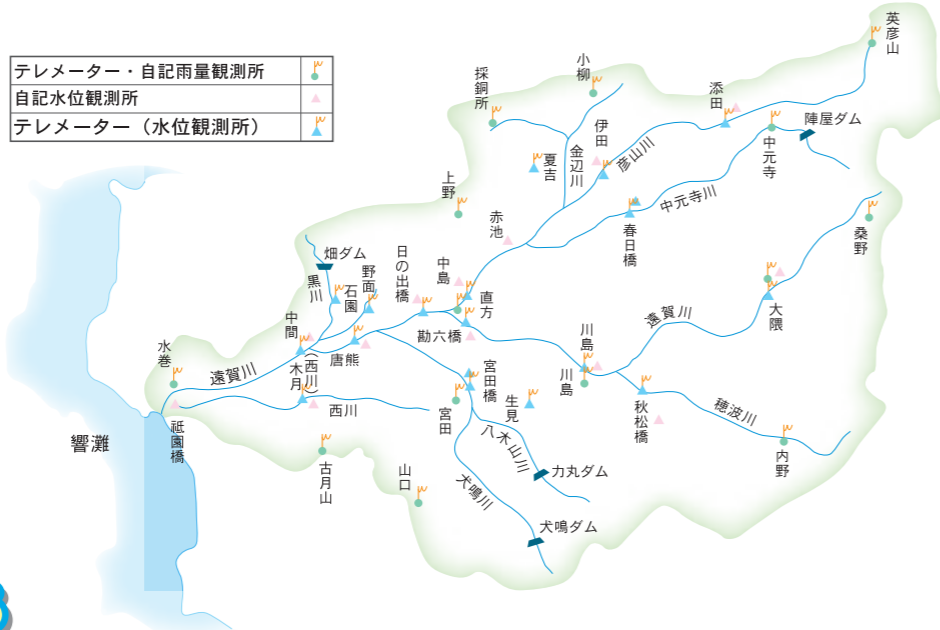


リバースクール ダガッパ学校

# 川の防災

## 洪水による被害を最小限にするために

平成21年7月豪雨のような記録的な雨が降った場合は、堤防などの河川管理施設だけでは洪水を完全に防ぐことが出来ません。国土交通省や県は、洪水による被害を少しでも軽減するために、河川の状況や雨量の状況など様々な情報を提供するとともに、日頃からの防災訓練に取り組んでいます。



## 防災情報を手に入れる

### パソコンからアクセス

雨量や水位の状況を知ることができます。

川には避難準備や避難するときの基準となる水位を決めた水位観測所があります。雨量や水位の情報は、遠賀川河川事務所などのホームページで見ることができます。

### 遠賀川河川事務所ホームページ

<http://www.qsr.mlit.go.jp/onga/>

(防災体制時【洪水、水質事故時】には以下のページになっています。)



ライブ映像

### リアルタイム川の防災情報

<http://www.river.go.jp/>

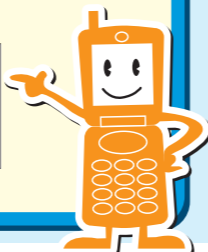


### 携帯電話からアクセス

携帯電話からでも雨量や水位の状況を知ることができます。

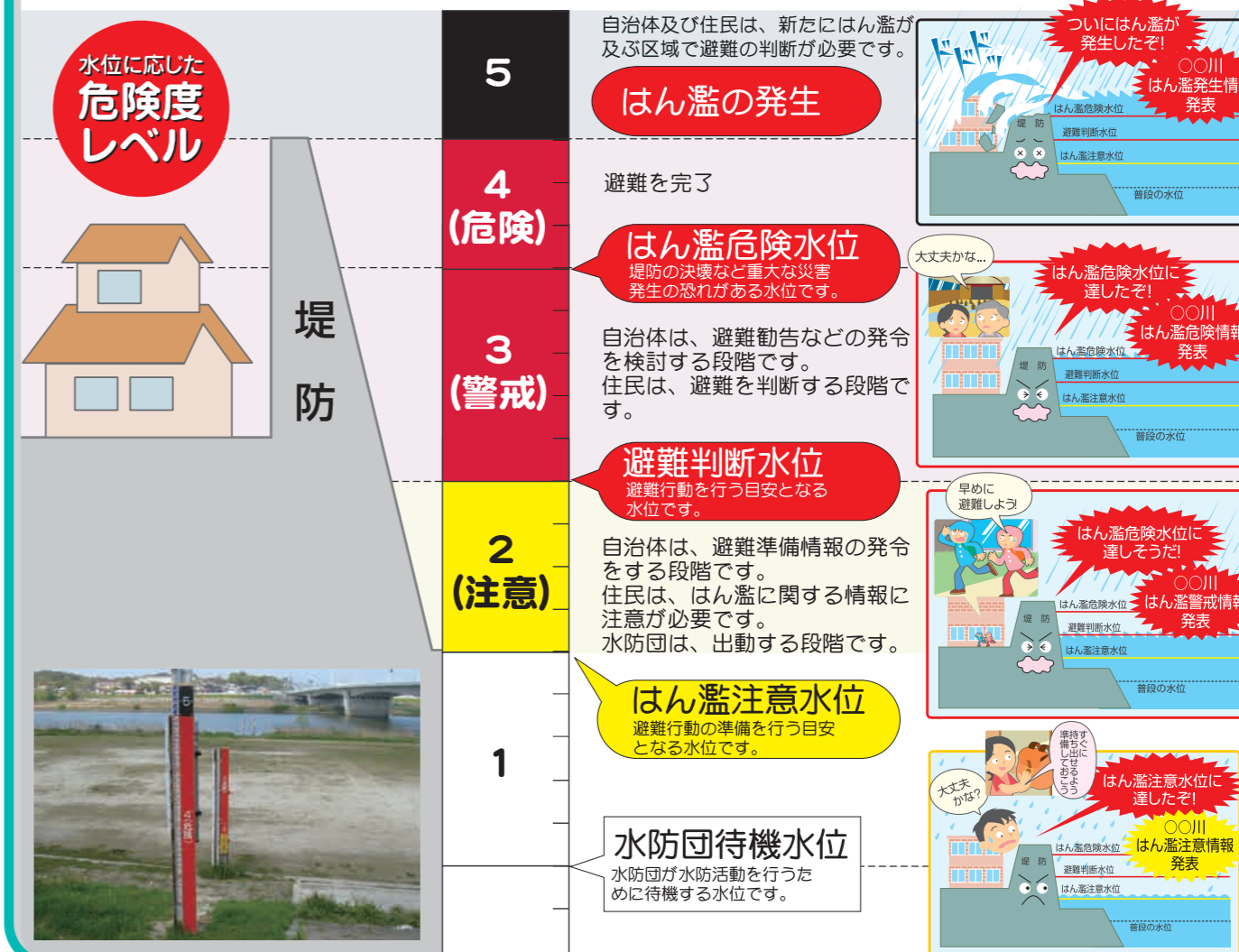
- 遠賀川河川事務所防災情報 [http://www2.ocn.ne.jp/~onga/mobile\\_cctv/](http://www2.ocn.ne.jp/~onga/mobile_cctv/)
- 国土交通省川の防災情報 <http://i.river.go.jp>
- 防災メール「まもるくん」 <http://www.bousaimobile.pref.fukuoka.lg.jp/>  
(ご利用には事前登録が必要です。)
- 福岡県の雨量・河川水位情報 <http://www.mobile-doboku.pref.fukuoka.lg.jp/>

「まもるくん」は事前に登録すると、災害などの状況をメールで知らせてくれます。



## 避難の目安

- 川には避難の目安となる、水位に応じた危険度のレベルがあります。
- ホームページや携帯サイトの水位情報に書いてある言葉の意味は以下のような事を指しています。
- 各自治体から発表される「避難準備情報・避難勧告・指示」などや河川情報に注意して、危険だと判断したら指示などがなくても早めの避難を心がけましょう。



## 防災訓練

梅雨や台風などの風水害や地震などに対して、実際におきたときに被害を最小限に抑えるため迅速かつ適切な情報伝達、現場対応ができるよう水防訓練、地震防災訓練などを国土交通省、福岡県、関係市町村と協力して、毎年実施しています。



防災訓練 (土嚢積み工法)



防災訓練 (シート張り工法)

## 遠賀川河川事務所紹介



福岡県直方市の遠賀川と彦山川が合流する導流堤に位置しています。

遠賀川をはじめとして、支川の彦山川、犬鳴川などの河川整備、維持管理及び河川環境整備等を行っています。

〒822-0013 直方市溝堀1丁目1-1  
TEL 0949-22-1830

## ●遠賀川河川事務所組織図

<b>事務所長</b>	<b>総務課</b>	組織・職員管理に関する業務及び、広報・渉外等の業務
	<b>経理課</b>	予算の管理・出納、工事・業務発注・物品購入における契約の締結や支払い等の業務
<b>副所長(事務)</b>	<b>用地課</b>	用地の買収や建物移転補償の業務
<b>副所長(技術)</b>	<b>工務課</b>	予算の要求及び河川の工事発注、庁舎、宿舍等の工事発注等の業務
<b>副所長(技術)</b>	<b>調査課</b>	遠賀川についての調査・計画・設計、水量や雨の資料収集、河川測量、広報等の業務
<b>建設専門官(経理課)</b>	<b>河川環境課</b>	遠賀川の自然環境・水質保全・水辺空間の創出に関する調査・計画・設計等の業務
<b>建設専門官(品質確保課)</b>	<b>管理課</b>	河川法に関する許認可(技術的)、河川維持・機械設備等に関する設計及び工事、河川管理施設の管理等の業務
<b>建設専門官(占用調整課)</b>	<b>占用調整課</b>	河川法に関する許認可(事務的)等に関する業務
<b>建設専門官(占用調整課)</b>	<b>品質確保課</b>	工事にかかる技術審査業務
<b>建設専門官(調査課)</b>	<b>防災情報課</b>	遠賀川防災情報の管理・危機管理情報の取りまとめ、遠賀川管内の電気通信施設の設計・管理等の業務
<b>用地官</b>	<b>飯塚出張所</b>	遠賀川の上流域(口の原橋から上流)、穂波川に関する業務
<b>上席専門職</b>	<b>田川出張所</b>	彦山川上流域(赤池橋から上流)、中元寺川、金辺川に関する業務
	<b>中間出張所</b>	遠賀川下流域(河口から中島橋まで)、黒川、笹尾川、西川に関する業務
	<b>宮田出張所</b>	犬鳴川、八木山川に関する業務
	<b>直方出張所</b>	遠賀川中流域(中島橋から口の原橋まで)、彦山川下流域(遠賀川との合流点から赤池橋まで)に関する業務
	<b>河口堰管理支所</b>	遠賀川河口堰に関する業務

## ●遠賀川河川事務所ホームページ



<http://www.qsr.mlit.go.jp/onga/>

遠賀川河川事務所ホームページには防災情報・リアルタイム雨量水位情報、遠賀川についての情報、記者発表資料、トピックスや流域イベント情報など様々な情報が入手できます。

## 直方出張所



〒822-0002 直方市頓野字正境 3330-1

TEL 0949-24-0083

## 河口堰管理支所



〒807-0001 遠賀郡水巻町大字猪熊 10丁目7-1

TEL 093-201-1675

## 中間出張所



〒809-0001 中間市大字垣生1991-1

TEL 093-245-0154

## 宮田出張所



〒823-0003 宮若市本城422-6

TEL 0949-32-0364

## 飯塚出張所



〒820-0002 飯塚市大字川島729-1

TEL 0948-22-1410

## 田川出張所



〒825-0017 田川市寿町7-54

TEL 0947-44-0568